

内港埋め立てについては、

小型船、だまりと一体的な整

備を行うもので、大洲市總

合計画基本計画においても

主要施策の一つとして位置

づけているものです。小型

船だまりが完成した後、現

在の漁船が新しい小型船だ

まりへ移転となれば、内港

の閉め切りを行い、新たな

土地の創出により地域の活

性化、魅力的なまちづくり

に向け、商業の振興や交流

人口の増加を目指していく

ものです。

長浜地域の活性化には臨海部の開発は重要な施策であり、これら地域の御意見を参考に計画づくりを行つていただきたいと考えています。

通学路の安全確保

調査・対策について

答 本年4月以降、登下校

中の小学生等の列に自

動車が突入し、子供たちや

一般市民が多数犠牲となる

痛ましい交通事故が連續して発生しました。

このような悲惨な交通事故の発生を受けて、文部科

省は、国土交通省及び警

察庁と連携して、通学路の

安全点検、安全対策を講じることとしました。これを

受けて教育委員会では、市

内の小・中学校に対し、保

護者等の協力を得て通学路

の点検を行い、6月末まで

に危険箇所の内容、及び合

同点検が必要かどうかを報

告するよう依頼したところ

です。

今後は、各小・中学校から

の報告をもとに、教育委

員会で調査結果を取りまとめ、

8月中を目安として、教育

委員会、学校、保護者、道

路管理者、警察署による合

同の安全点検を実施するこ

ととしています。その後、

点検結果を踏まえて安全対

策の必要な箇所を抽出し、

関係機関と協働して対策案

を策定します。そのうえで

学校、道路管理者、警察署

と連携、協力しながら対策

案に従つてどのような安全

対策が可能かについて検討

していきたいと考えています。

今回の通学路の合同点検

を機に、児童・生徒が安全

に安心して登下校できるよ

う、通学路の安全管理と安

全確保により一層努めてい

きます」と考へています。

零士ワールドサミット

活動内容と活用方針について

答 7月15日、16日の両日、

群馬県富岡市で零士

ワールドサミットが今年初

めて開催されます。このサ

ミットは、銀河鉄道999

や宇宙戦艦ヤマトなど、松

本零士先生の作品を活用し

て、まちおこしにつなげて

いる各種団体が一堂に会し、

活動報告、情報交換、相互

交流を図り、おのれの団体

のPRを全国に向けて発信

することで、魅力あるまち

づくりや誘客を図ることを

目的としています。

サミット会議では、参加

団体からの活動事例報告が

行われ、サミット宣言、交

流会などが開催される予定

です。先生と大洲市との絆

を大切にし、また他の団体

と情報交換することで、交

流人口の拡大につなげてい

きたいとの思いから、サミ

ットへの参画を計画したも

のです。

当市は、先生御本人、御

両親、そして漫画で結ばれ

た深い縁がありますので、

零士ワールドサミットへの

参画を機に、大洲市の魅力

を全国に発信し、あわせて

この機会に「龍馬が行く！大洲」150年記念事業な

どもPRをして、観光客の

増加につながるように努め

ていきます。

今後においては、幼少期

の先生と強いつながりを持

つ地域住民の皆様の中にグ

ループが結成され、今回

サミットに参加をされる他

の各団体の方々と、市民レ

ベルでの交流の輪が広がる

きっかけにもなればと期待

をするものです。

サミットに参加をされる他

の各団体の方々と、市民レ

ベルでの交流の輪が広がる

きっかけにもなればと期待

をするものです。

孤独、孤立死防止対策に

ついては、高齢者の地域に

おける見守り活動を推進し

ています。民生児童委員や

在宅福祉推進員による訪問

をはじめ、地区社会福祉協

議会のさまざまなサービス

事業や見守り推進員等によ

り高齢者との触れ合いに努

めています。民生活動では、

高齢者の見守り活動

孤独・孤立死の防止対策について

答 亡くなられたことに

近隣の方が気づかず、

相当日数を経過してから発

見されるという、いわゆる

孤立死という大変痛ましい

事案が全国で発生しており、

大洲市ではこの1年間、高

齢者の孤独、孤立死で把握

しているものだけでも2件

あります。

孤独、孤立死防止対策に

ついては、高齢者の地域に

おける見守り活動を推進し

ています。民生児童委員や

在宅福祉推進員による訪問

をはじめ、地区社会福祉協

議会のさまざまなサービス

事業や見守り推進員等によ

り高齢者との触れ合いに努

めています。民生活動では、

在宅介護支援センター

において昨年度は高齢者世

帯を1,803件訪問して

いるほか、特定高齢者把握

事業により、要介護状態と

なるおそれの高い方を把握

してサービスや相談等につ

なげています。このほかに、

緊急通報装置を設置してい

る363世帯については、